

**STANDARD**TOKYO

2023年1月25日

各位

会社名 テクノホライゾン株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(STANDARD・コード 6629)
問合せ先 取締役 加藤 靖博
(電話番号 052-823-8551)

業績予想の修正及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

当期の連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 40,000	百万円 1,500	百万円 1,300	百万円 900	円 66.78
今回修正予想（B）	45,000	△500	△400	△1,300	△96.46
増減額（B－A）	5,000	△2,000	△1,700	△2,200	
増減率（％）	12.5%	－	－	－	
（参考）前期連結実績 （2022年3月期）	34,521	749	955	431	31.99

修正の理由

売上高については、グループ企業の業績が貢献する見通しであることから、前回発表を上回る見込みです。

利益面では、グループ入りした子会社が貢献しているものの、競争激化で利幅が縮小したほか、物価上昇に伴う部品価格の高騰、円安に伴うエネルギー及び輸入製品価格の高騰、部品調達難に伴う生産効率の低下などにより売上原価が上昇し、期首の想定以上に利益の下押し圧力が強まりました。また、更なる事業の拡大・顧客満足度の向上を目指し、営業組織を強化したことにより活動費用や管理費用が増加しています。サプライチェーンに係るコスト上昇や円安などに起因する売上原価の上昇に対し、コスト削減、販売価格改定による適正化など収益改善に取り組んでおりますが、営業利益及び経常利益は前回発表を下回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記理由のほか繰延税金資産の取り崩し（595百万円）を行ったことにより、前回発表を下回る見込みです。

以上の理由から、通期連結業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正について

	年間配当額				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
前回予想 (2022年5月10日発表)	円銭 —	円銭 0.00	円銭 —	円銭 20.00	円銭 20.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前回実績 (2022年3月期)	—	0.00	—	20.00	20.00

修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営における最重要政策のひとつと認識し、企業体質の強化などを勘案の上、当該事業年度の収益状況に応じつつ長期的な視野に立って安定した配当を継続することを基本方針としております。

しかしながら、「1. 業績予想の修正について」に記載のとおり、各利益指標が赤字となる見込みであることから、期末配当予想を修正し、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

株主の皆さまには深くお詫び申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、期末時点の為替変動リスクは織り込んでいないなど、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上